

教科（ 理 科 ） 科目（ 探究化学 ） 学年（ 3 ） 単位数（ 2 ）

類型（ 文 ）

履修規定（ 選択 ）

学習の目標			使用する主な教材				
1 事物・現象についての観察や実験・実習を行い、自然に対する関心や探求心を高める。 2 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。			・『化学実験ノート』 愛媛県高等学校教育研究会理科部会化学部門 ・図説資料				
期	月	学 習 内 容	学 習 の 具 体 的 内 容 と ね ら い	主な評価の観点			
				①	②	③	④
一 学 期	4	第1編 物質の成り立ち	・物質は混合物と純物質、化合物と単体などに分類されることを学習する。 また、熱運動の激しさが変わることによって物質の三態変化が起こることを問題練習等により理解する。 ・元素について学習し、同素体の存在を理解する。 ・原子の構造について問題演習を行う。 ・イオンの生成について学習。分子の形成について学習する。 ・金属結合、金属結晶について理解し、問題演習を行う。 ・元素の原子量を理解し、分子量、式量の求め方の演習を行う。 ・状態変化と化学変化の違いを理解し、化学反応式の作り方とその応用問題演習を行う。	○	◎		
	5	1 物質の探究					
		2 物質の構成粒子		◎	○		
	6	3 物質と化学		◎			○
	7	第2編 1 物質料と化学変化		○		○	◎
二 学 期	8	2 酸と塩基	・酸と塩基の定義を確認する。 ・酸・塩基の強さと水素イオン濃度との関係を理解する。 ・中和滴定の操作を習得し、量的関係を理解する。 ・酸化・還元の定義の問題演習をする。 ・酸化剤、還元剤について学習し、問題演習をする。 ・金属のイオン化傾向にもとづいて、金属の反応性を学ぶ。 ・酸化還元反応の利用例として、製錬や電池の原理を学習する。 ・学習内容の定着と応用力を養う。	◎	○		
	9	3 酸化と還元		◎	○		○
					◎		○
	10					◎	○
	11	総合探究		◎		◎	○
三 学 期	1	問題演習	・問題演習を行うことで理解力、応用力を高める。		◎		○
	2						
	3						
評価の方法		①「関心・意欲・態度」：科学について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ②「思考・判断・表現」：科学的な現象について考察し、導き出した考えを表現している。 ③「観察・実験の技能」：観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 ④「知識・理解」：科学的な現象について理解し、知識を身に付けている。 以上4つの観点を考慮しながら、成績は定期考査の得点に平常点（学習態度、課題、小テスト、ノート等）を加味して100点満点で算出する。学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出する。					
備考							